

なぜ我々はイエメンに仕掛けた戦争を無視しているのか？

【訳者注】イエメンの悲劇を暴くこうした論文を読むと、今日の戦争現場で起こっているのは、単に残虐行為でなく、残虐、卑劣、冷血、墮落、サディズムなどが一つになった、究極の悪だということがわかる。特に、**確実に意図的な子供狙い**が今日の戦争の特徴である。

「悪魔的」「非人間的」という言葉が、こうした論者の中で使われるようになった。大人への残虐には耐えられても、子供に対する残虐には耐えられないように我々はできている、とドストエフスキーは言った。しかし子供に対する残虐にいくらでも耐えられ、それどころか楽しむことができる人々がいること、これを見て見ぬ振りをして迎合する者たちが、今日、圧倒的多数であることがわかってきた。

By Sonali Kolhatkar

Information Clearing House, August 19, 2015



イエメンは、残忍な、アメリカの援助による、サウジアラビア主導の戦争の標的になっている。普通の市民が、残酷な暴力と飢餓に苦しんでいるにもかかわらず、人権の擁護者だと主張するアメリカからも誰からも、聞こえてくるのは、ただ耳を聳する沈黙である。

この状況があまりにもひどいので、ほとんどすべての主要な地球規模の人権団体が、このペルシャ湾の最貧国で展開している人道的な悲劇について、厳しい警告を発している。

サウジ政権が3月に爆撃作戦を始めて以来、食料や医薬品の確保が困難になるにつれて、事

情は急速に悪化した。これに応じて、国連は7月初め、レベル3（最高レベル）の人道緊急事態を宣言した。国連大使の Ismail Ould Cheikh Ahmed は、イエメンを「飢餓状態にあと一歩」と評した。<http://america.aljazeera.com/articles/2015/7/1/un-declares-highest-level-humanitarian-emergency-in-yemen.html>

しかし爆撃もまた直接の結果をもたらしている。7月下旬、「人権ウォッチ」は、2つの居住ビルへの空爆によって **65** 人の市民が死んだ後、サウジアラビアを戦争犯罪で告訴した。犠牲者のうち **10** 人が子供だった。「明らかな軍事的標的がないのだから、この攻撃は戦争犯罪だと言え」と人権ウォッチの調査担当者は言った。

<https://www.hrw.org/news/2015/07/27/yemen-coalition-strikes-residence-apparent-war-crime>

「アムネスティ・インターナショナル」もまた、そのすべてを語る辛辣なタイトルの報告書を出した——「イエメン：戦争犯罪の証拠を伴った市民の死と破壊の血の痕」。人権ウォッチの報告を反映して、アムネスティの調査員たちが発見したのは、「一般人の家屋、学校、市場、モスクなどを含む、人口の密集した地域を標的とする攻撃のパターン」であり、「ほとんどの場合、いかなる軍事的目標も近くには存在しなかった。」

<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2015/08/yemen-bloody-trail-of-civilian-death-and-destruction-paved-with-evidence-of-war-crimes/>

子供たちは特に被害を受けやすかった。UNICEF は、即刻の援助を必要とする **1千万** という子供たちの想像できない数を引用して、イエメンの子供たちの惨状に注意を喚起した。3月以来、**400** 人近い子供たちが殺され、**600** 人が怪我をしている。この報告によると、「イエメンは、子供であることが世界で最も恐ろしい場所の一つである。」

http://www.unicef.org/media/files/CHILD_ALERT_YEMENUNICEF_AUG_2015_ENG_FINAL.pdf

全体で、4,000 名以上の人々がイエメンで殺され、**1,000** 名以上が市民と推計されている。

<http://www.reuters.com/article/2015/08/17/us-yemesecurityidUSKCN0QM18720150817>

8月11日に、国際赤十字委員会会長 **Peter Maurer** が警告の合唱に加わった。「人道的に見た状況は悲劇的というほかはない」と彼は、イエメンへの3日間の訪問の後で言った。「イエメンの家族のすべてがこの戦闘で被害を受けている。…医薬品が入ってこないで、傷病者の手当てができなくなっている。電力不足で装置が働かない。このままでは済まされない。イエメンは崩壊しつつある。」 <http://news.yahoo.com/yemen-crumbling-war-desperately-needs-aid-red-cross-080205139.html>

同じ日、「国境なき医師団」の緊急事態部門の責任者 Teresa Sancristoval もまた、深刻な水不足、医薬品やワクチンの不足、絶え間ない爆撃によって増加する不必要な死者数など、多重危機を警告した。彼女はこう書いている、「ある時には、私はイエメンの戦争が、武装したグループでなく、市民に対する戦争のように思えました。」

<http://www.doctorswithoutborders.org/article/yemen-war-against-civilians>

こうしたよく知られた人権グループの叫び声を無視して、サウジアラビアは、更にもう一つの港、北イエメンの市民への救助を届けるのに使われる主要な港を爆撃した。これに対して「セイブ・ザ・チルドレン」の Edward Santiago はこう言った、「ホデイダ港の爆撃は最後の本のわらだ。…こうした最近の空爆は、罪のない子供や家族に最も大きな衝撃を与えるだろ。う。」 <http://www.reuters.com/article/2015/08/18/us-yemen-security-idUSKCN0QN0HX20150818>

アメリカは、イエメンに対する残忍なサウジの空襲を祝福しただけではない。彼らはそれに積極的に参加している。最近、「ペンタゴンは、空爆のための更なる情報を供給するために、アメリカのアドバイザーの数を倍以上に増加した」と、ロサンゼルス・タイムズは報道した。これによって、空爆とそれに伴う市民の犠牲者は大きく増加した。LA タイムズが、イエメンの窮状は、アメリカのイスラム国への戦争によって、「大きく悪化した」と指摘したのは正しい。 <http://www.latimes.com/world/middleeast/la-fg-us-yemen-20150817-story.html>

簡単に説明すると、イエメン人が、彼らの長い間の大統領だった Ali Abdullah Saleh を、2011年に、エジプトやチュニジアのそれのような“アラブの春”革命に倣って倒したとき、彼らは副大統領 Abed Rabbo Mansour Hadi を、新しいリーダーとすることになった。しかしハディは、卑劣な無人機攻撃がアルカーイダに対して続けられていたとき、フーシ派 (Houthis) と呼ばれるシーア派の反政府グループによって追い出された。南の国境にいたフーシ派を、イランが援助しているのではないかと疑ったサウジアラビアは、オバマ政権に強くあと押しされた、侵略的な空爆によってイエメンを懲罰した。

空爆に加えて、新しい侵略的な地上軍による本格的な戦闘が、8月初めに始まった。小さいが大金持の国家であるアラブ首長国連邦 (UAE) が、イエメンの地上に大きな遊撃部隊を展開した。サウジアラビアと同じように、UAE は大きなアメリカの同盟国で、アメリカ製武器の忠実な顧客である。ある最近の分析によると、中東に対するアメリカの武器の売り上げは、オバマ大統領下で爆発的に拡大し、ジョージ・W・ブッシュのときは 100 億ドル超だったのに対し、2012年には、400 億ドル以上になった。607 億ドル相当の武器が、オバマ政権下で、ほとんどサウジアラビアと (67%) と UAE (21%) ——イエメンの 2 大侵略国

—の手に渡った。<http://www.nytimes.com/2015/08/04/world/middleeast/foreign-ground-troops-join-yemen-fight.html>

<http://www.vocativ.com/usa/nat-sec/obamas-ironclad-diplomacy-in-middle-east-is-a-cash-cow-back-home/>

これらの武器の中にはクラスター爆弾があり、サウジアラビアが、イエメンの市民に対して使ったと言われている。クラスター爆弾は、ほとんど世界中でこれを禁じているが、一握りの国家だけが例外で、そこにアメリカとサウジが含まれる。彼らは特に、無差別的に、一般市民に対してこれを使うとって非難されている。しかし、多くの人道主義団体が指摘しているように、一般のイエメン人の安全や福祉は、これら戦争商人にとっては、優先順位が低いようだ。

サウジアラビアは、イランの影響力が戦争に踏み切った動機だとしている（ハディ支配を復活させるレトリックとして）。しかし実際は、イランがフーシ派を助けている証拠はほとんどない。確かにイラン政府は、救援物資をイエメンに送り、その多くが、絶対的な必要性にもかかわらず、サウジアラビアによって阻止されている。しかしイランの軍事援助あるいは後方支援の証拠は全くない。

奇怪なことに、オバマでさえ、イランはフーシ派の反乱を応援はしていないと言っている。それどころか、イランはフーシ派を抑えようとしたのだとオバマは主張し、報道陣にこう言っている、「イランが現実的に、抑制を働きかけていたときが何度もあった。」オバマは、彼の最近の、シーア派イスラム政権との核開発についての合意の中で、イランを“理性ある”役者だと評している。ではなぜ、彼は、イエメンでのサウジの流血暴力について沈黙していたのだろうか？ しかもアドバイスと武器を与えて、積極的に参加してはいないか？

http://www.huffingtonpost.com/entry/iran-trying-to-stop-houthi-rebels-in-yemen_55c3ba1be4b0d9b743db627c

答えは、アメリカが、アメリカ自身のイエメンでの一方的ドローン（無人機）戦争に長いこと従事しており、この国が崩壊しかかっているのに、破廉恥にもそれを続けているという事実にあるかもしれない。8月12日、この国の東部での最新のドローン攻撃で、5人のアルカーイダと疑われた人物が、裁判なしに暗殺されるという結果になったらしい。ドローン戦争によってテロリストの脅威が減るよりも増えてきた。これは、アルカーイダのイエメン支部が、最近、更なる反米攻撃を呼びかけていることに明らかである。

<http://www.cnn.com/2015/08/04/middleeast/al-qaeda-branch-yemen-united-states/>

世界で最も豊かで強力な国アメリカが、中東で最も金持ちで強力な国々、サウジアラビアと

UAE を支援して、この地域で最も貧しく、世界で最も弱い国の一つ、イエメンを、叩きのめしている。イエメンの一般市民の苦しみについての、オバマ政府の沈黙の注目すべき点は、それがあらゆる他の者の沈黙に反映されていることである。アメリカの右翼勢力も左翼勢力も、そこでの殺戮と飢餓にあまり興味を示していない。

ユニセフ、人権ウォッチ、アムネスティ・インターナショナル、国際赤十字、国境なき医師団、セイブ・ザ・チルドレンといった国際人権団体が、団結して、イエメンにおける破局的戦争への弾劾の声を上げている。世界の残りの人々も、この残虐を直ちに終わらせる呼びかけに、注意を向けるべきであろう。